

2022年8月9日 第1回大阪・関西万博資源循環勉強会

資料1-1

大阪・関西万博と 資源循環勉強会の概要について



公益社団法人
2025年日本国際博覧会協会
企画局持続可能性部

1. 大阪・関西万博の概要

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催概要



- 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめた協会のマスタープラン「基本計画」を2020年12月25日策定・公表
- 基本計画に基づき、参加国、国際機関への招請活動や企業・団体・自治体・市民団体等の参加と共創を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取り組みを推進

開催概要

名 称	2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
会 場	夢洲(ゆめしま)（大阪市此花区）
開催期間	2025年4月13日～10月13日
想定来場者数	約2,820万人



会場デザイン ～世界とつながる海と空に囲まれた万博～



- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施。
- 「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン。



大阪・関西万博への参加、出展状況



国・地域、国際機関の参加状況 (2022.7.29時点)

- 公式参加表明 130か国・地域、8国際機関
(目標数：150か国、8国際機関)

民間パビリオン出展参加状況

<出展参加者(12企業・団体、五十音順)>

- 飯田グループホールディングス株式会社
- 住友EXPO2025推進委員会
- 特定非営利法人ゼリ・ジャパン
- 玉山デジタルテック株式会社
- 電気事業連合会
- 一般社団法人日本ガス協会
- 日本電信電話株式会社
- 株式会社バンダイナムコホールディングス
- 株式会社パソナグループ
- パナソニックホールディングス株式会社
- 三菱大阪・関西万博総合委員会
- 吉本興業ホールディングス株式会社

テーマ事業

「いのちを知る」  福岡 伸一 生物学者 青山学院大学教授	「いのちを育む」  河森 正治 アニメーション監督 メカニックデザイナー	「いのちを守る」  河瀬 直美 映画監督 LESLIE KEE	「いのちをつむぐ」  小山 薫堂 放送作家・脚本家
「いのちを拓げる」  石黒 浩 大阪大学教授 ATR石黒浩特別研究所 客員教授	「いのちを高める」  中島 さち子 音楽家・数学研究者 STEAM教育家	「いのちを磨く」  落合 陽一 メディアアーティスト	「いのちを響き合わせる」  宮田 裕章 慶應義塾大学教授

営業出店等

- 飲食施設として、ラウンジ&ダイニング、ファミリーレストラン、カフェ、ファストフード、フードコート、キッチンカーなどの営業出店が見込まれる。また、メッセなどにおける展示会での試飲食、さらには各パビリオンにおいても飲食品の提供が可能であり、少なくとも100以上の事業者が営業出店する見込み。
- 各国及び企業・参加国のパビリオンは、その面積の20%を飲食又は物販営業に充てることができることとなっている。

会場レイアウト①



会場レイアウト②



企業・団体等の参加 ～多様な参加形態を用意～



- 企業・団体等はともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。
- パビリオン出展、テーマ事業協賛、未来社会ショーケース事業参加、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加、催事参加、営業参加、会場建設費等への寄附等

パビリオン出展

万博のテーマに沿って自由な発想で
独自に企画・出展する参加

敷地面積約3,500㎡
募集終了
9区画

テーマ事業協賛

8名のプロデューサーが企画する
テーマ事業に協賛社として参加

資金
施設・物品・役務提供

未来社会ショーケース 事業出展

会場内で未来社会の実証・実装や
テーマを具現化する展示を行う参加

事業出展
資金・施設・物品・役務提供

会場整備参加 運営参加

施設・物品
・役務提供

TEAM EXPO 2025 参加

共創チャレンジ
共創パートナー

催事参加

資金・施設・物品
・役務提供

営業参加

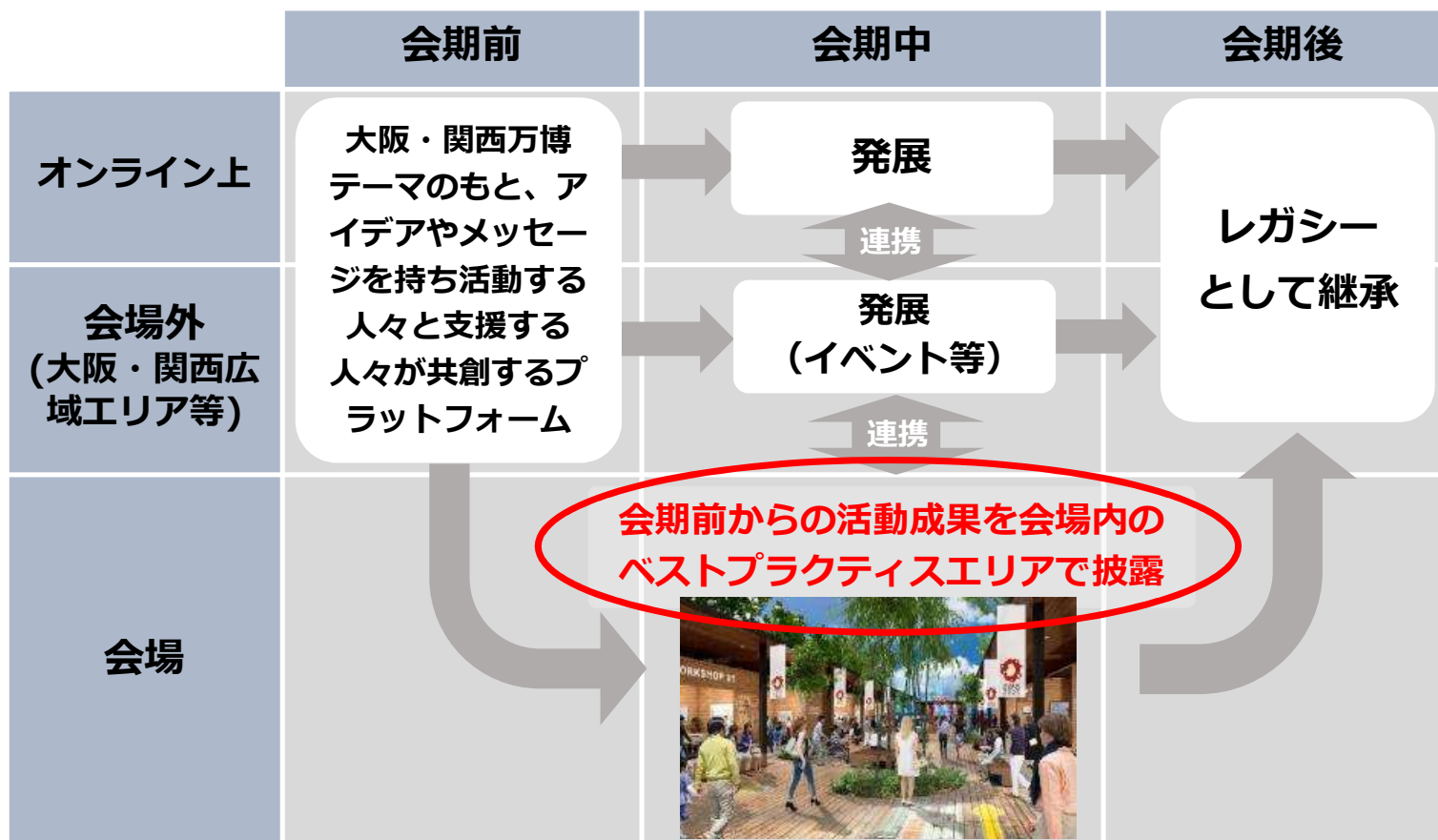
営業施設出店
ライセンスビジネス

万博応援参加

広報・プロモーション
寄附

「TEAM EXPO 2025」プログラム①

- 会期前より2025年に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、**多様な参加者が主体となり**、理想としたい未来社会を共に創り上げることを目指す**取組を推進する**。



「TEAM EXPO 2025」プログラム② ～具体的活動例～



共創チャレンジ

(活動例)

本万博のテーマの実現、SDGs達成の貢献に向けた多様な活動

- ・ 産官学が連携し、持続可能な地域づくりをめざす活動
- ・ 小中学生が子どもたちが、SDGs達成を目指すロボット制作を通じて世界の子どもと共創を進める活動
- ・ アート・デザインの力を活用したSDGsの発信、社会活動
- ・ 企業（ベンチャー企業、中小企業、大企業）がSDGs達成への貢献の元に進める新規事業活動
- ・ 万博の機運醸成に関する活動（学校、企業、団体、様々なレベルで）
- ・ その他、環境エネルギー、健康医療、観光など様々なテーマにおける活動



共創パートナー

多様な活動を創出・支援する企業・団体



人の支援

資金の支援

場・ものの支援

情報発信の支援

民間企業（金融、メディア、教育、メーカー等）、団体、
大学、国・自治体、社会起業家等

キーワード

SDGs Society5.0

共創（Co-Creation）

多様なセクターの**参加**

2. 資源循環勉強会の概要

大阪・関西万博における持続可能な運営をめざした取組

大阪・関西万博は、ISO20121への適合を視野に入れて、イベント運営における環境影響の管理に加えて、その経済的、社会的影響についても管理することで、イベントの持続可能性をサポートするためのマネジメントシステム(ESMS: Event Sustainability Management System)の導入を検討しています。2022年1月に博覧会協会内に持続可能性部が設置され、今後取組を検討して参ります。

「持続可能性有識者委員会」

※2021年12月設置（委員長：伊藤 元重 これまでに3回開催）

持続可能性の観点から配慮すべき分野などについて、専門的見地から意見及び提案を行うと同時に、持続可能な万博運営に関して議論を行う。



「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」の策定 ※2022/4/27公表



上記方針に沿って、必要となるビジョン・ガイドライン等を策定

脱炭素・資源循環に配慮した万博を実現するため、
〈EXPO2025グリーンビジョン〉策定・具体化
※2022/4/27改定版公表

適切な調達を進めるため、
「調達コード」策定・運用

...

改定版＜EXPO 2025 グリーンビジョン＞

2025年大阪・関西万博の脱炭素・資源循環
に関する目指すべき方向性及び対策について

2022年4月27日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

グリーンビジョンについて

- 2021年1月に設置した、未来社会における環境エネルギー検討委員会にて、検討した結果を2021年6月に中間取りまとめとして「EXPO 2025 グリーンビジョン」公開しました。
- 検討内容は、2020年末に政府が策定した基本方針や当協会が策定した基本計画を踏まえ、万博会場におけるカーボンニュートラルの実現、エネルギーを最適化する技術、水素エネルギー技術の導入等、大阪・関西万博において目指すべき環境エネルギーのあり方やその方向性、具体的な技術分野となります。
- また2022年4月には、「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」を策定し、その中でも重要視している脱炭素・資源循環に関して、大阪・関西万博で目指すべき方向性や核となる対策の候補等について、2021年6月に公表したEXPO 2025 グリーンビジョンを改定しました。
- 改定版＜EXPO 2025 グリーンビジョン＞では、これまで示していたエネルギーに関する対策に加え、会場整備、運営、来場者等の分野における対策の候補や、EXPO 2025 グリーンビジョン具体化タスクフォースでの検討について記載しています。
- さらに、本ビジョンの目指すべき方向性として、「万博におけるカーボンニュートラルの実現及び2050年のカーボンニュートラル社会の提示」のほか、「サーキュラーエコノミーの実現(需要サイドの技術等導入によるごみゼロ、食品廃棄ゼロ、ファッションロスゼロの実現)」を掲げています。

目指すべき方向性(4/27公表 改定版〈EXPO2025グリーンビジョン〉抜粋)

本万博における脱炭素・資源循環関連の取組について、以下を目指すべき方向性とする。

(1) 先進性／経済性のある技術等の導入による、万博におけるカーボンニュートラルの実現及び2050年のカーボンニュートラル社会の提示

(4) 会場内だけでなく会場外も含めた広域エリアを対象とした実証・実装プロジェクトを実施（脱炭素先行地域等の取組との連携）

(2) サーキュラーエコノミーの実現
（需要サイドの技術等導入によるごみゼロ、食品廃棄ゼロ、ファッションロスゼロの実現）

(5) グリーン成長戦略/重点産業分野における需給両面の取り組み推進（グリーンイノベーション基金等の取組との連携）

(3) 来場者等の理解促進を図り、行動変容を起す仕組みの導入

(6) スタートアップ等様々な主体の参加促進

核となる対策の候補(4/27公表 改定版〈EXPO2025グリーンビジョン〉抜粋)

エネルギー

【エネルギーマネジメント・水素エネルギー等】

- ・ エネルギーマネジメントシステム
- ・ 電力貯蔵
- ・ 水素発電/アンモニア発電
- ・ 海外からの水素/アンモニア輸送
- ・ 燃料電池(純水素型燃料電池等)
- ・ 再生可能エネルギー電力からの水素製造
- ・ 水素等を燃料とする次世代モビリティ(FC・EVバス、FC・EV船等)やSAF(Sustainable Aviation Fuel)等の次世代燃料

【CO2回収・利用】

- ・ DAC+CCS
- ・ メタネーション
- ・ カーボンリサイクル技術

【再生可能エネルギー】

- ・ 再生可能エネルギー(次世代型太陽電池発電、風力発電、バイオマス発電、廃棄物発電、帯水層蓄熱、海水冷熱利用 等)

運営

- ・ ごみゼロに資する技術・仕組み(ごみ回収×ナッジの仕組みの導入、食品提供に使用したプラスチックのリサイクル(プラ資源循環見える化)、生分解性容器のリサイクル及びバイオエタノール製造、マイボトル・マイ容器の推進 等)
- ・ 食品廃棄ゼロに資する技術・仕組み(食品の需給予測、食品残渣や下水汚泥等の活用(バイオガス製造、堆肥化等) 等)
- ・ ファッションロスゼロに資する技術・仕組み(ユニフォームのアップサイクル、サステナブルファッションの推進 等)

会場整備

- ・ 低炭素建材(CO2排出削減・固定量最大化コンクリート、木材等)
- ・ 低炭素工法
- ・ リユース・リサイクルの促進

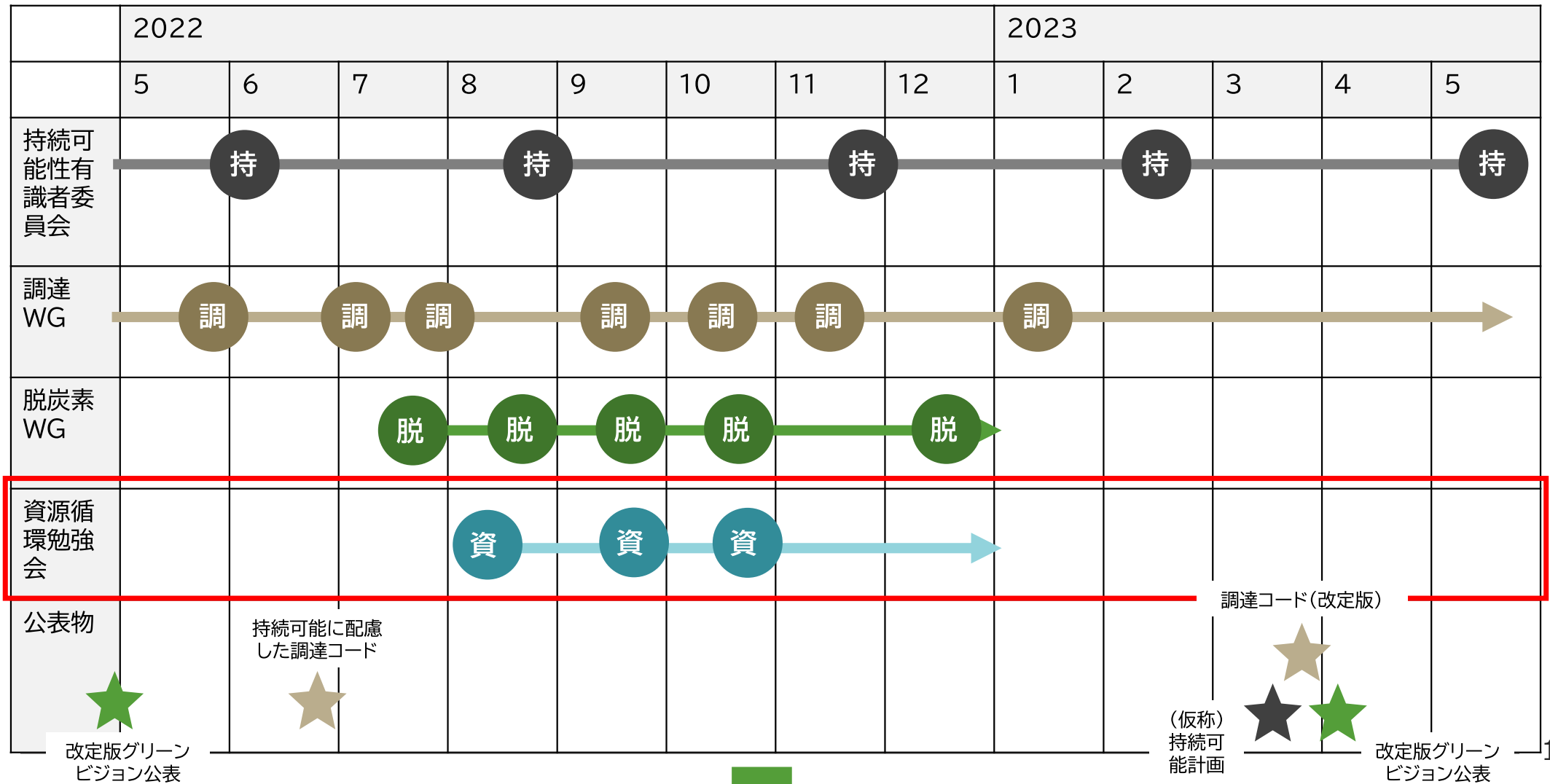
来場者

- ・ 行動変容を促すナッジの仕組み(会期前から来場者等の脱炭素・環境配慮行動に対して、積極的な動機付けを与えること等により行動変容を促し、CO2削減効果を図る)
- ・ 選択可能なオフセットメニューの提示
- ・ 環境エネルギー技術やカーボンニュートラルに資する技術・仕組みの理解促進を促す展示方法等

その他

- ・ 会場外脱炭素地域でのクレジット等の創出支援

スケジュール ※状況を鑑み前後する可能性あり



資源循環勉強会について

■設置の目的

- これまでの、グリーンビジョン等の議論を踏まえて、会期期間中の会場内の廃棄物の排出抑制、リサイクルの仕組みの構築、具体化及びレガシーとして何を残せるか、そのための取組について検討を進める。
- これまで博覧会協会では事業者等に対して行ったヒアリングをもとに、2025年に取組可能でありながらも、持続可能性の観点から最先端だと思われることを方向性(案)として提示する。これに関連するヒアリングを有識者、主体的な取組を検討している事業者等も交えて行う。
- こうしたヒアリングを元に、方針(案)を検討する。方針(案)については、調達WGで逐次検討を頂き、その後有識者委員会で議論いただく。今年度中に方針を決定する。また、この方針を出店者募集要領等に反映させる。
- こうした取組を基に、その後に廃棄物の削減、リサイクルについての目標値を別途設定する予定。

■参加メンバー(敬称略)

- 浅利美鈴 (京都大学大学院地球環境学堂准教授)
- 崎田裕子 (ジャーナリスト・環境カウンセラー)
- 原田禎夫 (大阪商業大学公共学部准教授)
- その他会場内及び大阪・関西万博に関連して積極的に資源循環に取り組みたいと考えている方

資源循環勉強会について

■日程

- 第1回:8月9日 方向性(案)の紹介と方向性(案)に関連した事業者に対するヒアリング
- 第2回:9月 方向性(案)に関連した事業者に対するヒアリング②
- 第3回:10月 方向性(案)に基づいた方針(案)の議論

※調達WGにおいても逐次検討いただき、意見聴取を行い、今年度中に完成させる。

また、当該方針を商業ガイドライン・出店者募集要項等に反映させる。

■第2回の勉強会について

- ・第2回勉強会では本日の議論を踏まえてヒアリング対象者を公募する(応募者多数の場合は協会にて選考)。
- ・公募したヒアリング対象者等からヒアリングを行い、引き続き方向性(案)の検討を行う。